

次号予告

特集 コミュニケーション

対人関係のコミュニケーション 村田雅之(東工大)
日産自動車のCI活動について

島田京子(日産自動車)

企業PRを考える——その概念と問題点

石渡賢一(電通)

組織とコミュニケーション 白樫三四郎(鳴門教育大)

組織間コミュニケーションの視点

山倉健嗣(横浜国大)

情報ネットワークとコミュニケーション

城川俊一(関東学園大)

連載講座

証券投資技法の基礎と概要(4)

石井吉文(ニッセイ基礎研)

日本オペレーションズ・リサーチ誌編集委員会

委員長	山田 善靖	東京理科大学
副委員長	日下 泰夫	東京都立商科短期大学
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	稲場日出男	工学院大学
	片山 隆仁	防衛庁
	川野幸三郎	東燃石油化学㈱
	城川 俊一	関東学園大学
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサー ビス㈱
	丹羽 清	㈱日立製作所
	平林 隆一	東京理科大学
	町原 文明	日本電信電話㈱
	松本 康男	㈱三和総合研究所
	矢部 博	東京理科大学

編集後記●本誌はORの新しい手法の紹介、適用分野によって異なる問題解決方法の研究などORの分野拡大をめざして編集してきている。また実例をできるだけ多く取り入れ、実際の場で有効なORとは何か、どのようにしたらORは有効に使われるかなどの問題を処理する方法を考える手がかりを読者の皆様に提供できることをめざしてきた。

特集号によっては一見直接的にはORと関係がないように思えるかもしれないが、ORの範囲を広く考えるならば関係が見えてくるものと思う。また新しい分野に出たいこうとすればするほど当然特集論文の執筆者はOR学会といままで直接関係の薄い方が多くなるために実際にORとはあまり関係がつけられない場合も出てくる。しかし一方、今まであまりORの分野では扱われていなかったが大変有効な考え方、手法が多く存在するこ

とが知らされる。したがってORの新しい分野を探しその分野に飛び込んでいくことが重要なことと考える。またこのような「革新を常に行なうこと」こそがORに本質的に必要な精神かもしれない。

その意味からすると本特集号「ライフサイクル」は新しい分野への拡大の試みである。すべての変化するものは「寿命(ライフ)」をもつとともに「循環(サイクル)」しながら変化してゆくと考えられる。このような法則にしたがっている現象に共通するものは何か、共通する問題解決法は何か、共通する考え方、見方は何かというような考えが本誌を読んで生じてかつその答えを考えていただけたならば幸いである。

このような試みを繰り返して行なうことがORの手法、考え方に新しい方向を与える1つになるかもしれないと考えている。(山田善靖)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

昭和63年10月号 第33巻 第10号 通巻334号

代表者 森村英典

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) 〒113

編集人 山田善靖

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 850円(郵送料含) 年間予約購読料 9600円(郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337)、日経弘報社(563-2241)へ